

Your Capital Market Intelligence

IR Japan

株主と企業を結ぶコンサルティング・パートナー



決算説明会資料

2013年3月期（2012年4月1日～2013年3月31日）

2013年5月16日

株式会社アイ・アール ジャパン（6051）

株式会社アイ・アール ジャパンの承諾なしに、本レポートの全部もしくは一部を引用または複製することを厳重に禁じます。

本決算説明会資料は、決算情報の開示のみを目的として当社が作成したものであり、日本国、米国またはそれ以外の一切の法域における有価証券の買付けまたは売付け申し込みの勧誘を構成するものではありません。また本決算説明会資料の作成にあたり、当社は当社が入手可能なあらゆる第三者からの情報の正確性や完全性に依拠し、それを前提としていますが、その正確性または完全性について、当社は何ら表明または保証するものではありません。本決算説明会資料に記載された情報は、事前に通知することなく変更されることがあります。本決算説明会資料およびその記載内容について、当社の書面による事前の同意なしに、第三者が公開または利用することはできません。

将来の業績に関して本決算説明会資料に記載された記述は、将来予想に関する記述です。将来予想に関する記述は、現在入手可能な情報をもとにした当社の経営陣の判断に基づいています。そのため、これらの将来に関する記述は、様々なリスクや不確定要素に左右され、実際の業績は将来に関する記述に明示または黙示された予想とは大幅に異なる場合があります。したがって、将来予想に関する記述に依拠することのないようご注意ください。新たな情報、将来の出来事やその他の発見に照らして、将来予想に関する記述を変更または訂正する一切の義務を当社は負いません。



I . 2013年3月期業績報告

**>> 2013年3月期 決算ハイライト****当期累計の業績は、上場来最高となりました。**

(百万円)

	2013/3期 累計実績	前期比	増減	2012/3期 累計実績 (前期比)
売上高	3,058	13.0%	350	2,707 (8.3%)
営業利益	612	26.4%	127	484 (16.8%)
経常利益	608	24.6%	120	487 (16.6%)
当期純利益	320	49.2%	105	215 (25.0%)



2013年3月期 売上高

当社施策

- 証券代行事業の開始によるIR・SRサービス全般のラインナップの拡充
 - ✓ IR Japan独自のワンストップストックソリューションサービス
 - ✓ ミドル・スモールキャップ企業への営業機会の増加
- 社員教育の徹底によるコンサルタントの質向上及びリサーチ部門の強化

市場環境

- 外国人の積極的な日本株買い(=株主構成上の外国人のプレゼンスの高まり)
 - ✓ 株主総会における議案否決リスクの高まり
 - ✓ 敵対的買収リスクの高まり
- アクティビストの活発化を受けた、上場企業による事前のリスク対応の積極化
- 国内機関投資家の外国人化(=議決権行使の判断基準の厳格化)
- ストラテジックバイヤーによる敵対的買収の勃発

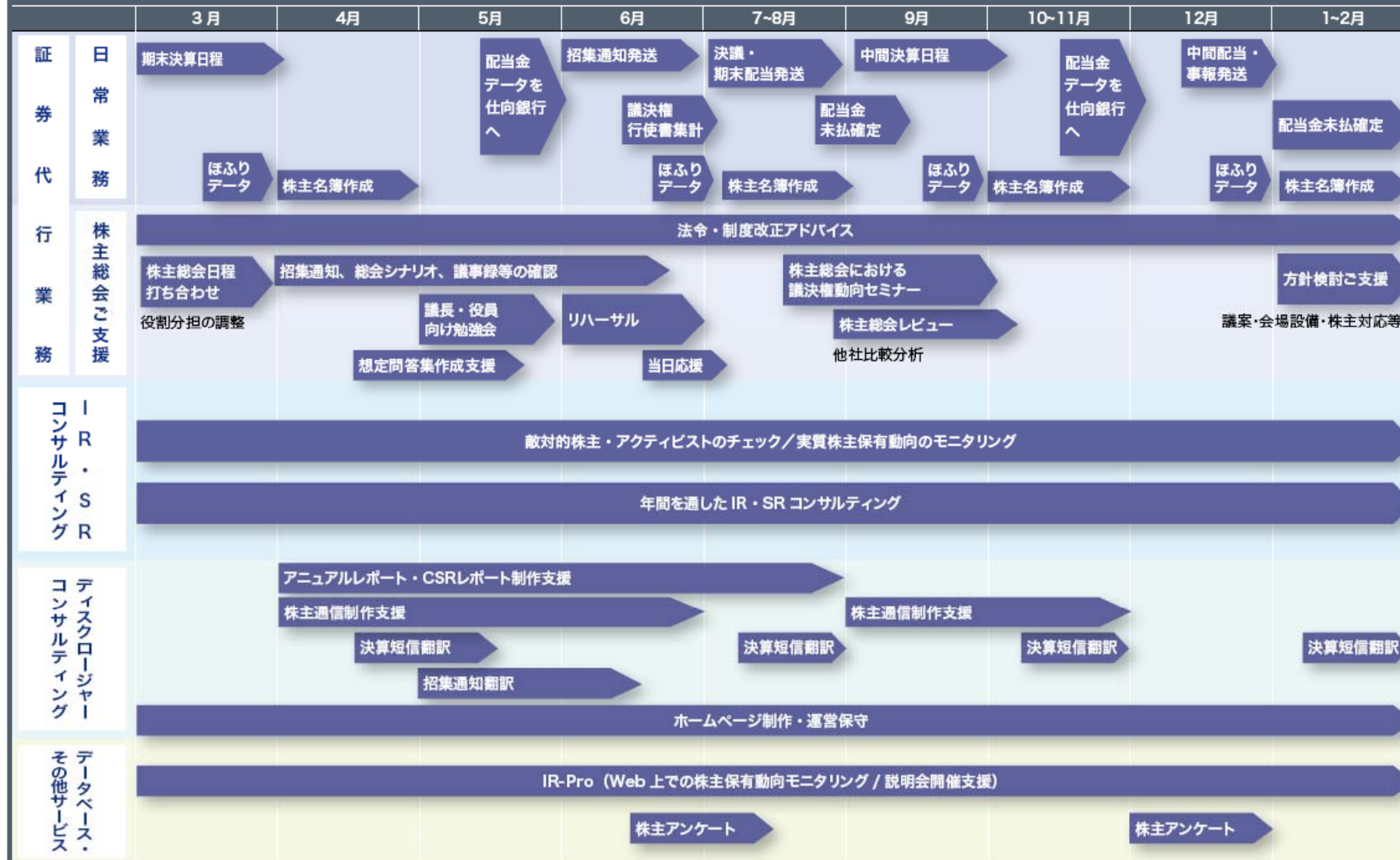
顧客数が大幅に増加し売上高は3,058百万円(前期比13.0%増)となった

ワンストップストックソリューションサービス

Your Capital Market Intelligence
IR Japan

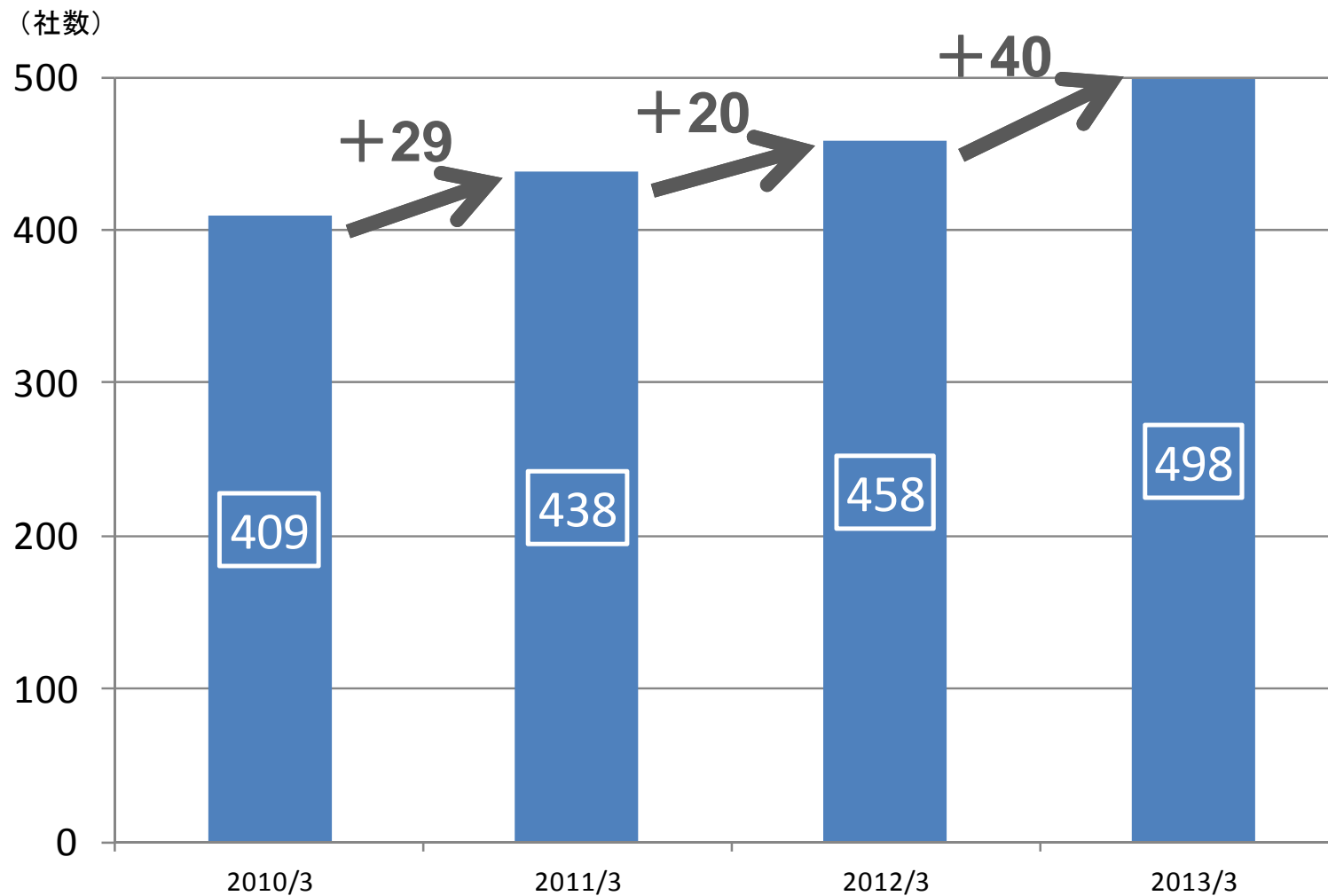


IR Japan 独自のワンストップストックソリューションサービス(3月決算企業の例)





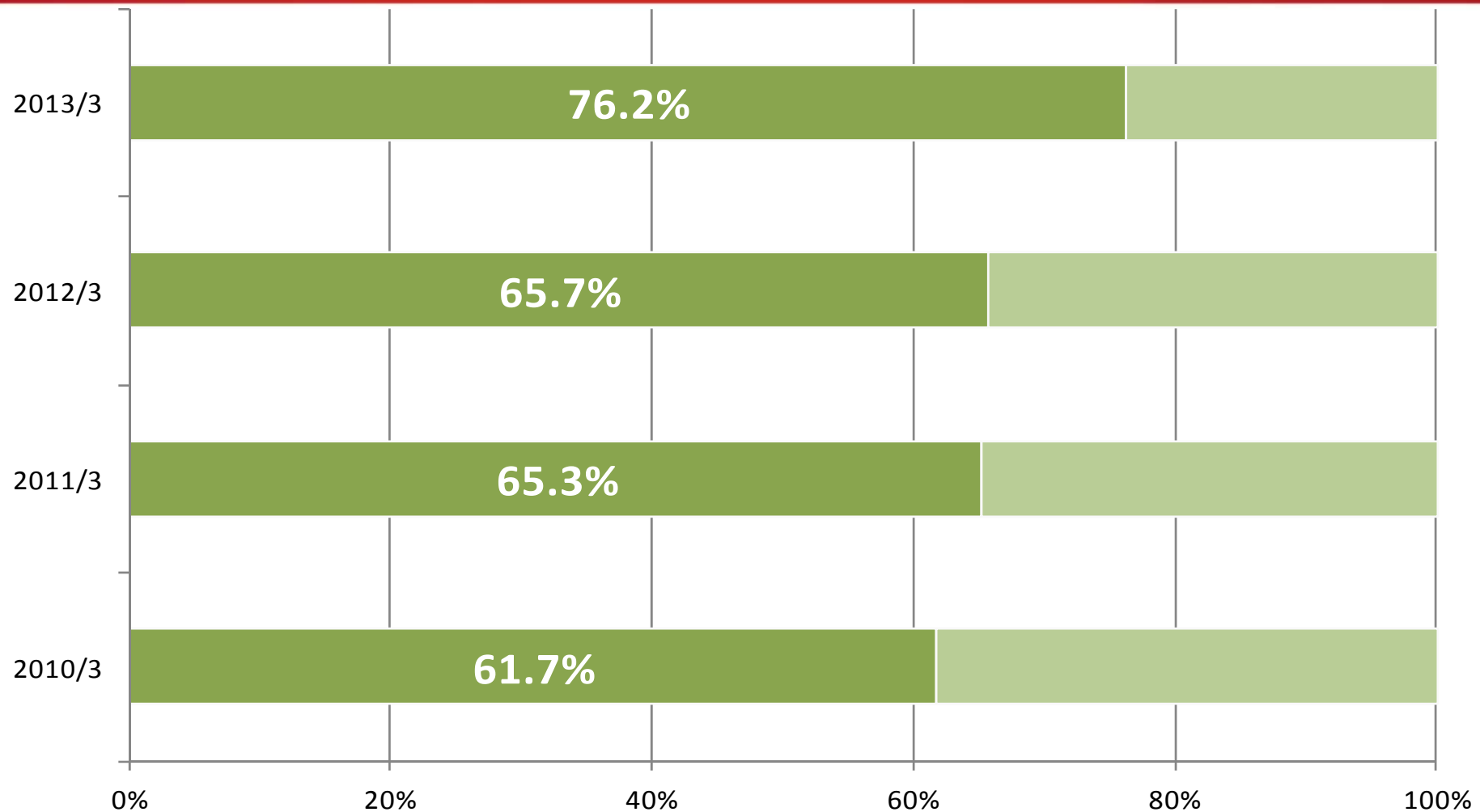
2013年3月期 当社顧客数の拡大



2013年3月期の取引顧客数は498社(前期比+40社)となった。



2013年3月期 海外株主判明調査シェアの拡大



* 全国株懇連合会「株主総会等に関する実態調査集計表」における海外株主判明調査実施企業に占める当社顧客数の割合

2013年3月期の当社シェアは76.2%（前期比+10.5pts）となった。



2013年3月期 利益

前期(2012年3月期)営業利益 484百万円

売上高の増加 +350百万円

営業費用*

外注費の増加 ▲124百万円

その他経費の増加 ▲70百万円

仕掛品の影響 ▲28百万円

営業利益の変動 +127百万円

【その他経費の内訳】

地代家賃の減少 +11百万円

交際費の減少 +8百万円

支払手数料の減少 +6百万円

人件費の増加 ▲51百万円

旅費交通費の増加 ▲20百万円

減価償却費の増加 ▲14百万円

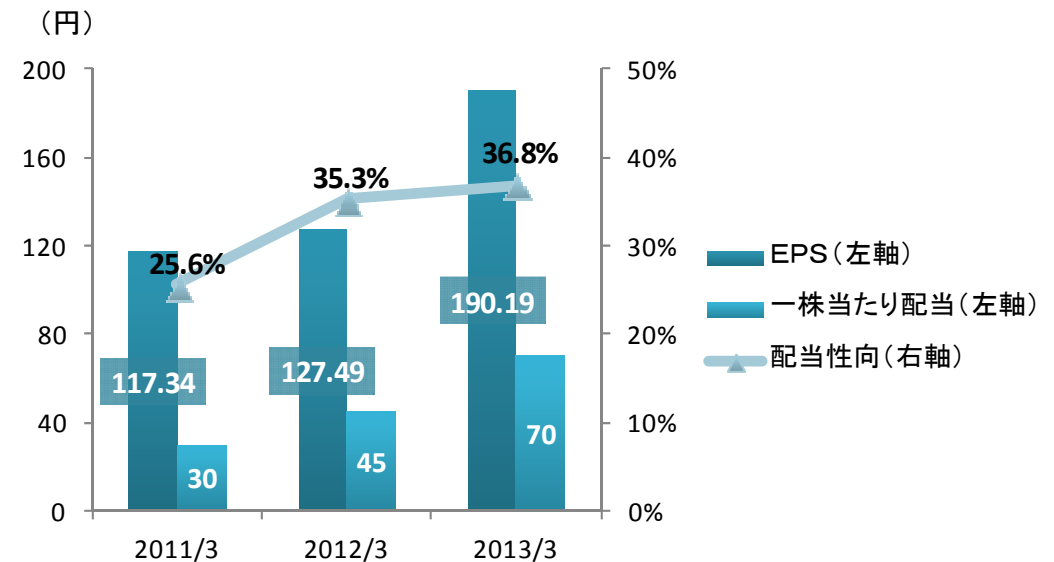
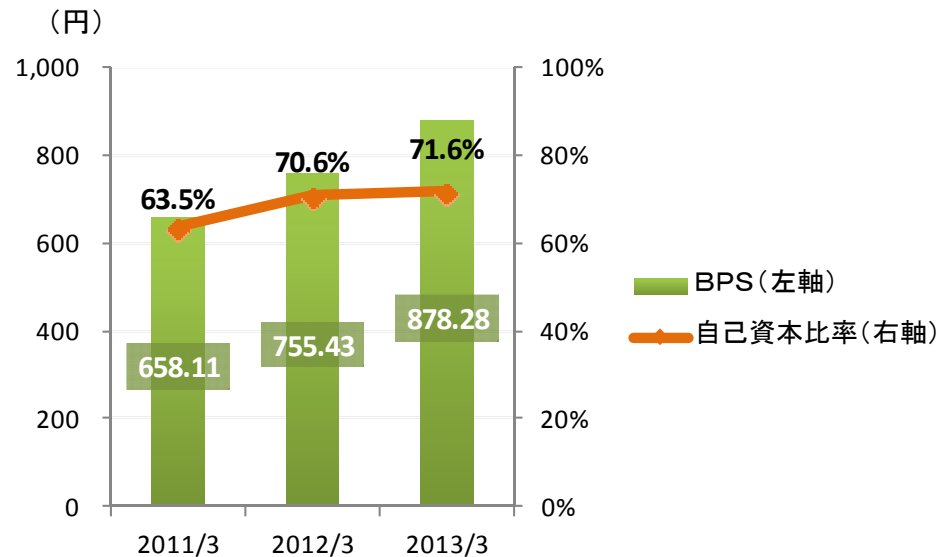
その他の増加 ▲10百万円

当期(2013年3月期)営業利益 612百万円

売上高の増加に伴う外注費の増加や体制強化に伴うその他経費の増加となったが、営業利益は前期比26.4%増の612百万円、経常利益は同24.6%増の608百万円、当期純利益は同49.2%増の320百万円となった。

* 営業費用：当社では就業時間に応じて人件費等を売上原価及び販管費に各々計上しているため、売上原価及び販管費の計上額が就業時間によって大きく左右されます。そこで、人件費等の各費目について、売上原価及び販管費を合算することで、就業時間の変動に影響を受けない分析を行っております。

2013年3月期 B/Sの要点



- 純資産は、利益剰余金が当期純利益の計上による320百万円の増加、配当金の支払いによる113百万円の減少等により、2012年3月期末に比べ207百万円増加し、1,481百万円となった。
- 一株当たり純資産は、2012年3月期末の755.43円から16.3%増加し878.28円となった。
- 自己資本比率は2012年3月期末の70.6%に比べ+1.0ptsの71.6%と、**有利子負債ゼロ**の無借入金体制による強固な財務体質を維持。



2013年3月期 サービス別売上高 実績

(百万円)

	2013/3期 累計実績 (前期比)	2012/3期 累計実績 (前期比)	増減
IR・SRコンサルティング	2,221 (14.6%)	1,938 (8.5%)	282
ディスクロージャー コンサルティング	591 (9.2%)	542 (9.1%)	49
データベース・その他	244 (7.9%)	226 (4.5%)	18



2013年3月期 サービス別の要点

【サービス別】 <売上高(前期比)>

●IR・SRコンサルティング <2,221百万円(+14.6%)>

- ✓ 上場企業各社における株主からの賛成票確保・アクティビストファンド対策等の当社IR・SRコンサルティングサービス（株主判明調査ならびに議決権行使促進活動）のニーズが増大し、新規及び既存顧客の通常案件受注が堅調に推移。
- ✓ 証券代行事業の開始によって、IR・SRサービス全般のラインナップが強化され顧客数が順調に増加。
- ✓ 社員教育の徹底によるコンサルタントの質向上及びリサーチ部門の強化により、適切かつ効率的なサービス提供が行える体制の構築に加え、FA（投資銀行）及びLA（法律事務所）との連携等、全社一丸の取組により前期に比べ**売上機会ロスを一層軽減**し、顧客の裾野が拡大。

●ディスクロージャーコンサルティング<591百万円(+9.2%)>

- ✓ ツールコンサルティング（Annual Report、株主通信等の企画・作成支援）は、新規顧客の獲得に加え、既存顧客への拡販が奏功し増収。
- ✓ リーガルドキュメンテーション（各種法定開示書類等の英文開示書類の作成や和文資料の英訳）は受注に際して収益性を重視した結果、横ばい。

●データベース・その他<244百万円(+7.9%)>

- ✓ 個人株主向けアンケートシステム「株主ひろば」の受託が伸び、増収。



証券代行業業の状況

- 証券代行業業については、40年振りの新規参入会社として当期末までに上場企業**8社**(当社を含む。以下同様)の受託を決定。
- 2013年5月15日時点において受託決定済みの企業は**13社**(上記8社含む)。
- 全国規模で多数の上場企業から委託先決定のためのコンペ参加の依頼が加速している。
- 株券電子化(2009年1月)後における、委託替え年間平均社数約90社*の約1割に相当する数の受託社数を獲得したことに、当社の参入の意義とともに当社の競争力について、自信を深めた。

*全証券代行各社の合計



Ⅱ. 2014年3月期 事業戦略の概要



証券代行事業

IR・SRコンサルティング

株主提案権の行使、敵対的買収の動きなど、増加する有事案件への対応強化

- ✓ 実質株主判明調査
- ✓ プロキシアドバイザー
- ✓ 敵対的買収防衛コンサルティング 等

市場規模 約900億円

ライツ・オファリング関連業務

日本国内において普及が見込まれるライツ・オファリングに関する支援強化

- ✓ アドバイザリー業務
- ✓ インフォメーションエージェントサービス
- ✓ 10%テスト 等

高い競争力を有する証券代行事業を中核とし、
IR・SRコンサルティング及びライツ・オファリング関連業務を強化



株主数別の上場企業数*及び当社顧客数

株主数	~1万人	~5万人	~10万人	10万人~
企業数	2,764 社	634 社	74 社	74 社
当社顧客数	189 社	173 社	40 社	52 社
取引シェア	6.8%	27.3%	54.1%	70.3%

* 当社調べ

営業戦略

既存取引先が少ないため、
証券会社等の紹介、新聞広告等で
全国的に営業展開。

既存取引先が過半数に達しており、
既存取引と絡めた提案を実施。
積極的にコンペ開催を打診。

全上場企業に対して適切な営業活動を実施



>> ライツ・オファリングにおける収益機会

○Advisory

- ・プロジェクト全体のマネジメント(スケジュール管理、ドキュメント作成等)
- ・行使価格、割当比率の算定
- ・関係各所対応(財務局、証券取引所、ほふり、法律事務所、監査法人等)

○証券代行

- ・10%テスト用の株主確定
- ・ライツ割当基準日の株主確定(割当通知発送を含む)

○OIA

(Information Agent)

- ・情報提供のための架電
- ・問合せ対応の受電(コールセンター設置)
- ・未行使株主向けのハガキ発送

○10%テスト

- ・実質株主ベースで米国居住株主比率が10%以下であることを調査
- ・米国SECへの報告義務の免除を受けるための調査証明書発行

○SECファイリング

- ・Form CB作成
- ・ライツに関する開示資料の英訳



Ⅲ. 業績予想 及び 株主還元



2014年3月期 業績予想 (4月12日時点)

(百万円)

	2014/3期 通期業績予想	前期比	増減	2013/3期 通期実績 (前期比)
売上高	3,360	9.9%	301	3,058 (13.0%)
営業利益	813	32.7%	200	612 (26.4%)
経常利益	742	22.0%	133	608 (24.6%)
当期純利益	423	31.8%	102	320 (49.2%)

* 2013年3月期末をもって、のれん償却(年額85百万円)が終了

当社はMBOに伴うのれん代を2009/3期より毎年85百万円償却しておりましたが、2013/3期末をもって終了となりました。

2014/3期は他の条件が同一と仮定した場合、**営業費用が前期比85百万円減となるため、同額の利益押し上げ効果が見込まれます。**



2014年3月期 年間配当について

2014年3月期の年間配当は、2013年4月12日時点の通期業績予想に基づき、年間配当**90円**（配当性向38.9%）とします。

中間配当は40円とし、期末配当を50円とする予定です。

(参考)1株あたり配当金の推移

	第2四半期末	期末	年間
2014年3月期 (予定)	40円	50円	90円
2013年3月期 (予定)	22.5円	47.5円	70円
2012年3月期 (実績)	-	45円	45円

Your Capital Market Intelligence

IR Japan



株主と企業を結ぶコンサルティング・パートナー

Your Capital Market Intelligenceとは、IR Japanが発行企業、投資家の皆様の資本市場でのリスク回避や多種多様なニーズへの対応をコアビジネスとし、独自のIntelligence(高度な情報を駆使して解決する能力)をフル活用し、持続的な成長を加速させることを示すコンセプトです。